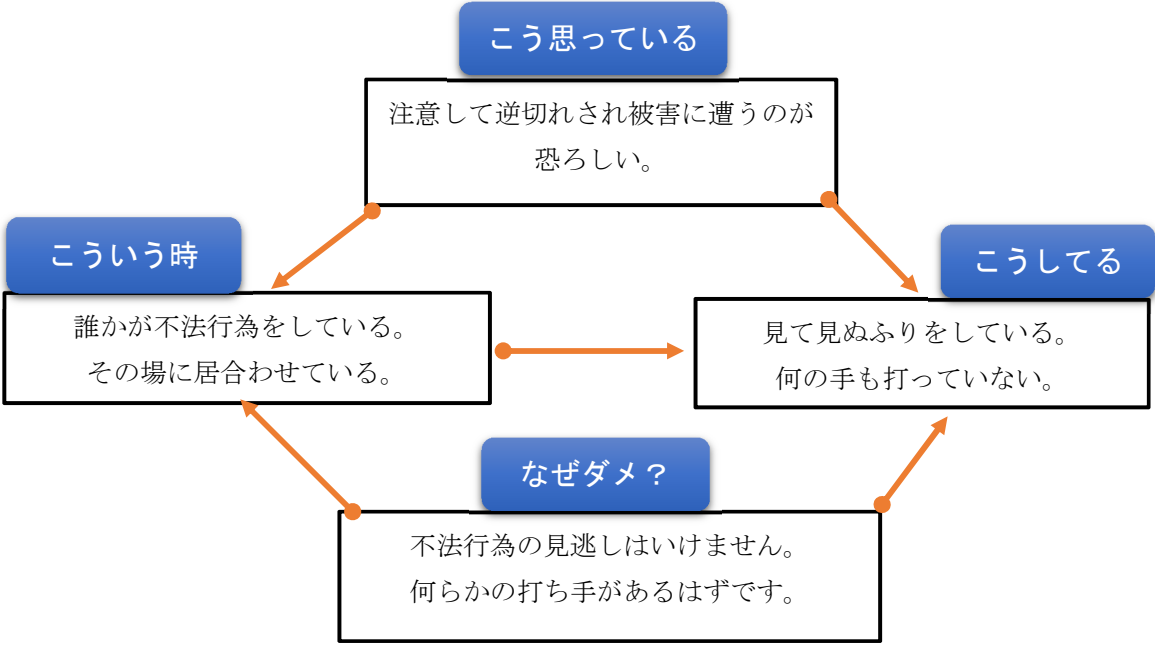
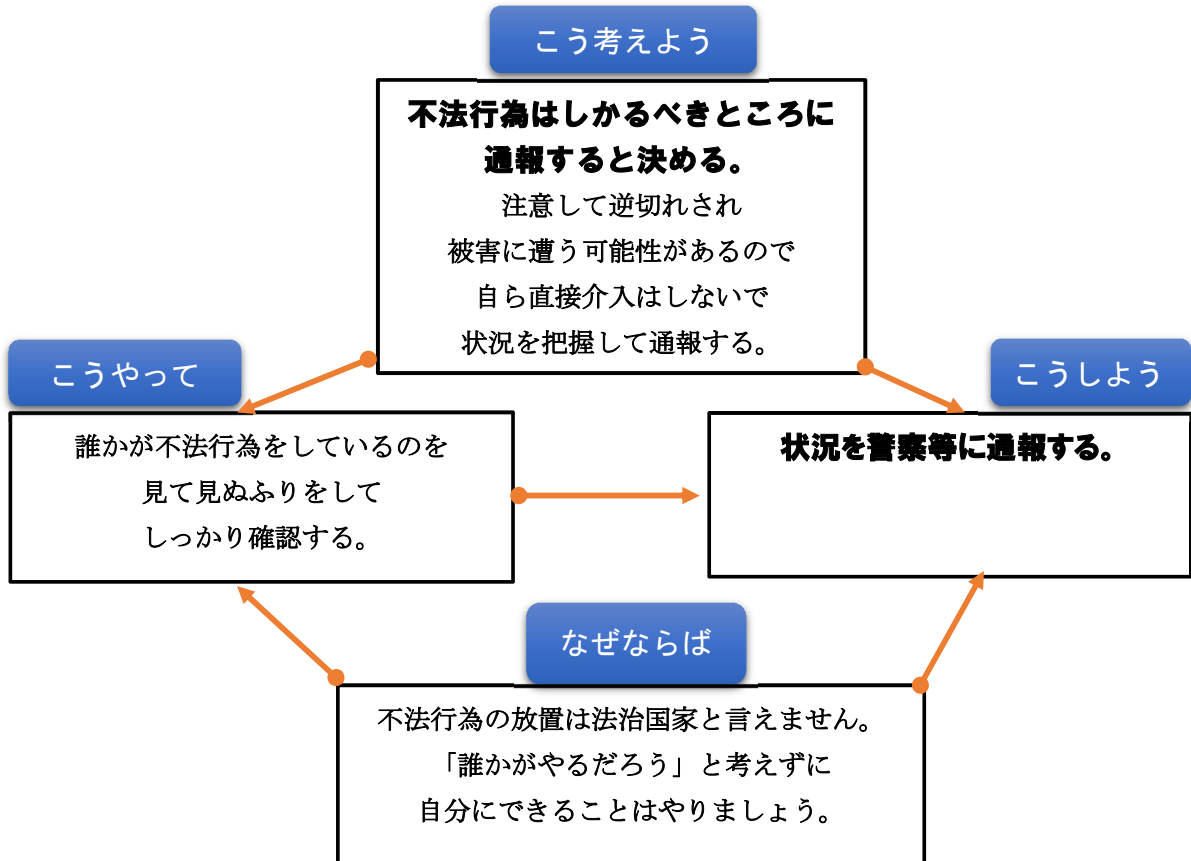


アリスモデルによる分析	
テーマ	区分
見て見ぬふり（不法行為）	あなたの現状



## アリスモデルによる分析

テーマ	区分
見て見ぬふり（不法行為）	めざす目標



### 【不法行為その1 幼児虐待事件】

不法行為に対して、見て見ぬふりしてほしくないのは、  
幼児虐待事件です。

これはぜひ無くしたい事件です。

そして、近所の人との協力で無くすこともできるのです。

近所の人には、

異常な泣き声がある。

子どもにあざができています。

子どもが保育園に行っていない。

に気が付くことが多いのです。

その場合は、「余計なことをしてはいけない」と考える前に  
まず通報しましょう。

本当は、児童相談所がその担当なのですが、  
連絡先などが分かりません。

110番でよいのです。

警察がしかるべく対応してくれるでしょう。

あとは警察と児童相談所の責任です。

死に至った本当にかわいそうなケースは

その連携の悪さ、担当の判断の誤りが原因です。

児童相談所もたいへん多忙ですから、

つい後回しになったりして、手遅れになるのです。

### 【幼児虐待事件で傍観者効果はどう関係する？】

見て見ぬふり（困っている人がいる）の解説で、

ご紹介した「傍観者効果」の原因・理由の内、

当テーマに関わるのは、

「関わりたくない」「面倒なことになりたくない」

「誰かが手助けするだろう」

でしょう。

しかし、警察に連絡するのは、誰が連絡しているか  
虐待の主には分からないのですから、

気にすることはありません。  
虐待でないかもしれませんが、ダメもとで連絡してあげましょう。  
子どもの命にかかわる可能性があるのですから、  
大事をとっていいのです。

児童虐待が起きないように、児童虐待が大事にならないよう奮闘しているのが、  
児童福祉司です。

その実態を伝えた大久保真紀さんの「ルポ児童相談所」からその最終章を  
次のページに転載させていただきます。

### 【不法行為その2 凶悪事件】

これはうかつには手を出せません。  
先般も新幹線で、人助けに入った人が殺されてしまいました。  
無法者は何をしでかすか分かりません。

残念ながら、自ら手を出すのは危険です。  
見ぬふりして観察をしておいて、警察等に通報するのが一番です。

警察等への連絡だけは  
「見て見ぬふり」「誰かがするだろう」ではなく、  
積極的に対応しましょう。

### 【私の行動改善目標（いつまでにこうなる）】のお勧め（例）

#### 【日々の行動（こうする）】のお勧め（例）

そういうことには滅多に巡り合わせませんから、  
「児童相談所に連絡する」「警察に連絡する」は  
行動改善の進捗管理対象外ですね。

出典：大久保真紀著「ルポ児童相談所」(朝日新書)

「明けない夜はない」

阿部は大学を出て別の仕事をしていたが、子どもが虐待死するニュースを見て、「自分が救う側に回りたい」と、この世界に飛び込んだ。

子どもの保護に東奔西走する日々の中で、

「赤ちやんで、保育園にもどこにも通っていないというのが一番怖い」と漏らす。自分の担当するケースで、いつ死亡事故が起きてもおかしくないと感じている。

「もしかしたら子どもが亡くなるかも」

そんな不安や緊張を強いられる児童相談所のワーカーたちは、一方で、親から怒鳴られることも珍しくない。

それでも「子どもにとっての最善の利益」を考えて日々、走り続けている。

阿部は、親に対して強い態度で臨むことに躊躇はない。

「親と関係を作ろうと思うとしんどいけれど、別にどう思われようといいと思えば乗り越えられます」

「子どもを救えたらそれでいい」と阿部は自分に言い聞かせている。

「自分はこんなに冷たい人間かと思うこともありますけど……」と冗談っぽく笑うが、

心の強さも求められるのが虐待の初期対応をするワーカーたちだ。

少し前のことだ。

小学生の男の子が父親に頭を踏みつけられてけがをし、一時保護した。

両親からは猛烈な抗議が続いた。

祖父母らも加わって、阿部は「だまして連れて行くやり方は汚い！」

などとののしられた。

(上野注：[児童福祉法](#)第 33 条の規定により、児童相談所は所長の判断で虐待されている幼児・児童を強制的に「一時保護」できるようになっています。この権限は警察よりも強い(裁判所の判断が不要なので)とされています。ですから保護者からのクレームもあるのです)

何度も抗議されたが、阿部は一步も譲らなかった。

「子どもの安全が第一です！」と繰り返した。

「お父さん、私ここに寝るんで、

どれぐらいの感じでお子さんを踏んだかやつてもらえますか？」

阿部は面談のときに父親にそう提案して、床に寝そべった。

父親は戸惑いながらも、床を蹴って再現してみせた。

父親は、「どうしたら子どもを帰してくれるのか？」と繰り返した。

子どもが言うことを聞かなかったため、父親の威厳を見せようと足を振り上げたら、結果として踏みつけてしまったと主張した。

「足を上げたとしても、踏んづけるというのはないですよ。それは虐待です。

子どもに伝わるようなかわり方をしてほしいんです」

阿部は父親に適切な対応をするよう言い続けた。

その後、父親が態度を改める意思を見せたため、

子どもを家に戻し、学校などと協力して虐待の再発がないかフォローを続けている。

1カ月ほど前、父親に面談でこう言われた。

「息子が一時保護されてよかつた。

あそこで止めてくれていなかったら、もつとエスカレートしていたかもしれない。

私は子どもを自分の枠にはめようとしていたことがわかりました。

今はかわり方を変えました」

その言葉を聞いた阿部は、胸を熱くした。

父親の晴れやかな笑顔に、「この仕事をやっていてよかつた」と心から思えた。

子どもを一時保護すると、ほとんどの場合、

保護直後の10日ほどは保護者から激しく抗議される。

張り詰めた緊張感の中で、気力と体力を保ち続けることに限界を感じることもすらある。

支えは、「子どもの命を守るため、間違っことはしていない」との思いだ。

「親からの抗議はいつか終わる。子どもを無事保護できていれば、

親も途中で考え直し、『悪かった』というところも出てきますから」

阿部は自分に言い聞かせるように、こう続けた。

「明けない夜はない、ということですね」

児童相談所のワーカーたちの奮闘は今日も続いている。

## 【不法行為でとばっちりを受けないための参考情報源】

直接このテーマのものだけでなく、関連の情報も紹介しています。

### 1. 覚えておきたい、犯罪に巻き込まれないための「微表情」

<https://hbol.jp/95432>

こういう顔の人がいたら要注意という情報です。

### 2. 巻き込まれるかもしれない刑事事件

<https://www.keijihiroba.com/involved>

弁護士事務所が書いているサイトで、多くのケースが紹介されています。

### 3. 事件に巻き込まれる?! 実際にあった犯罪体験談 ～信じる信じないはあなた次第..

<https://matome.naver.jp/odai/2146315526290160801>

実際にあったという恐ろしいことが、多数紹介されています。

### 4. 事件や事故に巻き込まれたら

<http://www.ny.us.emb-japan.go.jp/jp/j5/07.html>

ニューヨークでのことです。警察も救急車も911ですって。

### 5. 無差別殺人に巻き込まれないためにはどうすればいいのか

<http://lifeisfun.xyz/20160622/>

個人の見解ですが、参考になります。

### 6. 犯罪被害に巻き込まれない心がけを！危険を知り対策を考える

<http://benesse.jp/kosodate/201610/20161008-3.html>

中高生への識者のアドバイスです。

### 7. 犯罪に巻き込まれない為に！

<http://girlschannel.net/topics/486371/>

女性向けに、いろいろな意見が紹介されています。